株式会社文光堂

『アスレティックトレーナー専門基礎科目テキスト3　スポーツ医学概論』

正誤表

本書におきまして，下記の通り記載内容に誤りがございました．訂正してお詫びいたします．

（2026年8月20日作成，2026年11月13日更新）

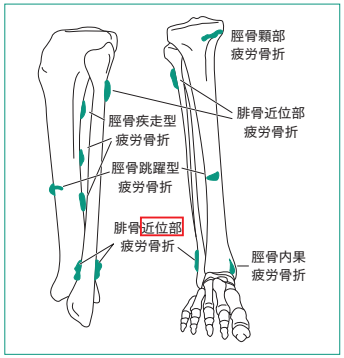
<table>
<tr><th>刷</th><th>頁</th><th>該当箇所</th><th>誤</th><th>正</th><th>更新日</th></tr>
<tr><td>1・2刷</td><td>72</td><td>表3-3-1</td><td>
表 3-3-1　腹部の解剖
<table>
<tr><td colspan="2">腹壁</td><td>表皮，皮下組織（皮下脂肪，膠原線維，皮神経など），筋肉（腹直筋，内腹斜筋，外腹斜筋，腹横筋など），骨</td></tr>
<tr><td rowspan="3">腹部内部</td><td rowspan="2">腹腔（腹膜腔）</td><td>腹膜内臓器＊1</td><td>胃，空腸，回腸，盲腸，横行結腸，S状結腸，肝臓，胆嚢，脾臓，卵巣など，十二指腸，膵臓，副腎，腎臓，尿管</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外腹膜腔</td><td>後腹膜腔臓器＊2</td><td>腹部大動脈，総腸骨動静脈，下大静脈，上行結腸，下行結腸など</td></tr>
<tr><td>腹膜下腔臓器＊3</td><td>膀胱，子宮，直腸</td></tr>
</table>
＊1：臓側腹膜に囲まれており，横隔膜とは腹膜靭帯で，腹膜内臓器同士は重なった臓側腹膜により形成された間膜によりつながっている．
＊2：後腹壁の壁側腹膜によって前面が覆われている．
＊3：壁側腹膜と臓側腹膜で囲まれた空間である腹膜腔の外のスペースで腹膜腔の下方（骨盤底）に位置し，完全には腹壁に固定されていない．
</td><td>
表 3-3-1　腹部の解剖
<table>
<tr><td colspan="2">腹壁</td><td>表皮，皮下組織（皮下脂肪，膠原線維，皮神経など），筋肉（腹直筋，内腹斜筋，外腹斜筋，腹横筋など），骨</td></tr>
<tr><td rowspan="3">腹部内部</td><td rowspan="2">腹腔（腹膜腔）</td><td>腹膜内臓器＊1</td><td>胃，空腸，回腸，盲腸，横行結腸，S状結腸，肝臓，胆嚢，脾臓，卵巣など</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外腹膜腔</td><td>後腹膜腔臓器＊2</td><td>十二指腸，膵臓，副腎，腎臓，尿管，腹部大動脈，総腸骨動静脈，下大静脈，上行結腸，下行結腸など</td></tr>
<tr><td>腹膜下腔臓器＊3</td><td>膀胱，子宮，直腸</td></tr>
</table>
＊1：臓側腹膜に囲まれており，横隔膜とは腹膜靭帯で，腹膜内臓器同士は重なった臓側腹膜により形成された間膜によりつながっている．
＊2：後腹壁の壁側腹膜によって前面が覆われている．
＊3：壁側腹膜と臓側腹膜で囲まれた空間である腹膜腔の外のスペースで腹膜腔の下方（骨盤底）に位置し，完全には腹壁に固定されていない．
</td><td>2026/8/20</td></tr>
<tr><td>1・2刷</td><td>156</td><td>図3-12-11</td><td>


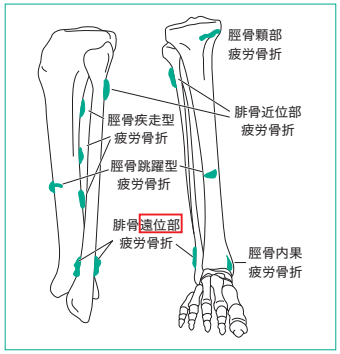
図 3-12-11　下腿疲労骨折
</td><td>


図 3-12-11　下腿疲労骨折
</td><td>2026/11/13</td></tr>
</table>